

C-11 衣服についてのアンケート (カ1報) —衣服行動について—
梶山女大家政 奥村詔子 富田明美 ○安田盈子

最近、社会の変化に対応し衣服の流行も多種多様化して、それぞれの年代や個性に応じた解放的、かつ自由な服装がなされるようになってきた。そこで実際の衣服行動に対する実態と意識を把握し、これからの衣服行動の指針を求めるために調査した。

調査対象は本学園内の14～63才までの生徒、学生、職員(女子)273名(回収率100%)で、調査時期は昭和48年4月15日より5月4日の間に行なった。調査方法は質問紙法により記入を求め、回答は、単一回答、重複回答格づけ、自由解答などがあり、項目ごとに指定した。

衣服行動については、年代の差はあまりみとめられなかった。強いて言えば、大学1年生は制服から解放され、比較的流行に敏感になっているところが見うけられた。全体に対象者の衣服に対する関心は高いが、実際の行動は実用本位の堅実なタイプが多いことがわかった。